

平成 20 年 10 月 24 日
アイエヌジー投信株式会社

本日の弊社設定ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社のファンドに格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社で設定・運用しております公募投資信託のうち、下記のファンドについて本日10月24日の基準価額が5%を越す下落となりましたので、お知らせいたします。

【基準価額が5%超下落した弊社ファンド】

本日(10月24日)、基準価額の下落率が5%を超えた公募ファンドは以下の通りです。

ファンド名	基準価額 10月23日	基準価額 10月24日	変化率
アイエヌジー・日本株式オープン	3,701 円	3,418 円	-7.65%

【主要株価指数の動向】

株価指数	10月23日終値	10月24日終値	変化率
日経平均株価	8,460.98	7,649.08	-9.60%
TOPIX(東証株価指数)	871.70	806.11	-7.52%

(出所)ブルームバーグ

【基準価額下落の要因】

基準価額が下落した主な要因は、国内株式市場の下落です。

【国内株式市場の動向】

本日(10月24日)の東京株式市場は大幅な続落となり、日経平均株価は心理的な節目である8,000円を下回り、前日比811円90銭(9.60%)安の7,649円8銭とバブル崩壊後の安値に近づく動きとなりました。TOPIX(東証株価指数)は同65.59ポイント(7.52%)安の806.11と、どちらも一日の安値圏で引けました。

昨日の海外株式市場は比較的落ち着いた推移となったものの、発表された企業業績などから世界的な景気の先行き不透明感が広がり、為替市場では円高が進みました。国内企業の決算についても、23日の取引終了後にソニーが今期の収益見通しを大幅に下方修正したため、ハイテク企業の決算に対する警戒感が高まりました。また、トヨタの7~9月期のグループ全体の世界販売台数が7年ぶりのマイナスになったと伝えられたことも重石となりました。

加えて、外国為替市場で各国通貨に対して円が午後一段高となったことも嫌気されました。米ドルが95円台、ユーロが122円台に下落したため、輸出関連企業に対する売り圧力が一段と増加しました。



【今後の見通し】

金融危機とそれに対する各国の対策は株式市場に織り込まれつつあるものの、世界的な景気の悪化に注目が移っており、特に企業業績の悪化を織り込む展開が続いています。今後は金融政策を含んだ各国の経済対策を織り込む展開が予想されますが、世界の株式市場では、ボラティリティ(変動率)の高い市場環境が続くと見ております。

当社では、これらの市場動向を注視しつつ、慎重な運用を行っていく方針です。

以上

以下の記載は、金融商品取引法第37条により表示が義務付けられている事項です。お客様が実際にご購入される個々のファンドに適用される費用やリスクとは内容が異なる場合がありますのでご注意ください。

投資信託に関する留意事項

●投資信託にかかるリスクについて

投資信託は株式・債券のほか値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動による影響もあります)ので基準価額は変動します。したがって、投資家の皆さまの投資元本は保証されているものではなく、これを割込むことがあります。

投資信託はファンド毎に投資対象資産の種類や投資対象国、投資制限等が異なることから、リスクの内容や性質が異なります。お申込みの際には、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託説明書(交付目論見書)は販売会社の店頭等でご用意しております。

●投資信託にかかる費用について

(投資信託のご購入時や運用期間中には以下の費用がかかります。)

■お申込時に直接ご負担いただく費用

お申込手数料 お買付金額に対して最大 3.15% (税抜き 3.0%)

■ご換金時に直接ご負担いただく費用

信託財産留保額 ご換金時の基準価額に対して最大 0.3%

■投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用

信託報酬 純資産総額に対して最大年率 1.89% (税抜き 1.8%)

■その他費用として、上記以外に保有期間等に応じて信託財産からご負担いただく費用があります。

●投資信託は預金等や保険契約と異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。

●銀行等の登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。

【ご注意】

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、アイエヌジー投信株式会社が運用するすべての追加型公募投資信託のうち、ご負担いただくそれぞれの費用における最大の料率を記載しております。

投資信託のリスクならびに費用の詳細につきましては、各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。